

笑顔あふれる学校

Smiling School 勝央中



勝央中学校 HP はこちら→ <http://gakuji.town.shoo.lg.jp/shoo-mh/>

勝央中学校だより No.12

令和7年1月7日(火)

勝央町立勝央中学校長

浦島 毅

TEL: 38-3148

「真っ向勝負」～全員で勝つ・挑戦し続ける1年に～

新しい年を迎えるとともに、今日から3学期がスタートします。13日間の冬休みは計画的に過ごすことができましたでしょうか。3学期は、一番短い学期で、あっという間に過ぎることを例えて、1月は「往ぬる」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われます。日数は、卒業式までは67日、修了式までは78日です。3年生のみなさん、この日数を67日しかないと考えるか、67日もあると考えるかはそれぞれの状況によって変わってきます。しっかり計画を立てて1日1日を大切に、「今日できること・今日しないといけないこと」を確認しながら、自分自身と「真っ向勝負」、充実した3学期にしてください。

3年生にとって本格的に入試が始まります。(冬休みに既に入試を終えている人もいますし、このあとすぐに行われる人もいます。)明日は、面接練習が行われます。津山高専の推薦入試が15日、県内私立一期入試が23日とそれぞれのタイミングで入試は始まり、3月11・12日の公立一般入試・同発表の19日まで続きます。何度も言いますが、受験は団体戦、最後まで全員で戦う気持ちで、全員の進路が決まるまで頑張ってください。J1昇格を決めたファジアーノ岡山ではありませんが、「全員で勝つ」です。

1,2年生が、受験に向かう3年生を応援する取組が昨年度もありました。受験応援メッセージ、受験応援動画、受験応援献立、受験応援ソング、そして卒業式での賛歌・・・、不安な思いで毎日過ごす3年生にとっても心強かったことでしょう。賛歌の取組で成長していった現3年生の姿、今でも忘れません。1,2年生のみなさんは、3年生への感謝や応援の気持ちを伝えるとともに、自分たちが勝央中を引っ張っていくという準備として、集団の力を高める取組ともなります。

最後に、今年の干支はへび年、十干十二支では、「乙巳(きのと・み)」です。乙は、植物の成長にたとえると、「種子の殻を突き破り、芽を出す状態」を意味します。「へび」というと、しばしば嫌われ者扱いをされがちですが、一方で、「脱皮を繰り返して成長することや、その生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴し、縁起がいい生き物」とされることもあります。2025年の巳年は「鬼が出るか蛇が出るか」、いったいどんな試練が、または喜びが私たちを待ち受けていることか。どんな困難に直面しても「蛇に見込まれた蛙」のように萎縮することなく、チャンスがあれば「長蛇を逸する」ことなく、ひとたび目標を定めたならば「竜頭蛇尾」に終わることがないように、健康に留意しつつ、充実した1年にしていきたいと思います。(下の写真は、遠隔で行った2学期終業式・表彰伝達の様子です。)

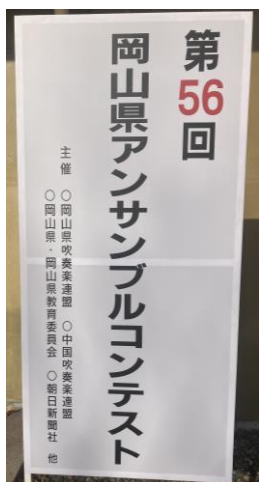


【人権標語】

12月の人権週間に、様々な人権問題について考え、人権標語を作成しました。各学年の優秀作品を紹介しています。誰もが安心・安全と感じて日々生活ができる環境をつくっていきましょう。

【吹奏楽アンサンブルコンテスト】

12月26日、くらしき作陽大学で吹奏楽アンサンブルコンテストが行われました。本校からは「管打四重奏」が出場しました。一人ひとりが持つ力を存分に発揮し、銀賞となりました。



【晴れの国岡山駅伝】

1月26日岡山市で開催される市町村対抗の第14回「晴れの国駅伝」が実施されます。中学生・高校生・一般の男女でチームが構成されています。本校からは、水島晃太さん、大土井颯空さん、日野詩弥さん、長尾賢一さん、竹久桃香さん、西川葵さん、下山まなみさんがエントリーされています。当日は持てる力を存分に発揮して頑張ってください。

【2学期終業式・表彰伝達】

(過去通信で紹介していないもの)

- ・令和6年度岡山県中学校文化連盟会長賞 白澤 七佳(2年)
- ・第43回岡山県中学生人権作文コンテスト 優秀賞 神田 悠(2年)

人権標語優秀作品(1年生)

- ・いじめって よいことあんの? 考えろ(日野 弥都)
- ・男らしい 女らしいより 君らしさ(藤原 良香)
- ・笑顔でも 見えない傷が かくれてる(中岡 美緒)
- ・誰が何を 好きになっても いい世界(藤本 南々美)
- ・地球はさ 人間だけの ものじゃない(高山 琴音)
- ・やめようよ 相手にささる その言葉(田口 皓士)

人権標語優秀作品(2年生)

- ・あいさつは 友情咲く 水になる(森本 芽生)
- ・その心・・・ 包んであげたい 絆創膏(脇田 あやね)
- ・携帯電話 心を削る 文字の跡(瀧上 晴翔)
- ・笑顔で しわをふやして しあわせを(西元 那歩)
- ・人権は 楽しく生きる 大切な権利(日野 詩弥)
- ・君がくれた 奇跡の言葉 忘れない(百田 柚希)

人権標語優秀作品(3年生)

- ・見ているよ 影での優しさ つづけんちゃん(田中 瑛大)
- ・いじめると 問答無用で それ「差別」(野上 諒人)
- ・人は皆 必ず誰かの 宝物(板倉 夢依)
- ・言ってみよう いつもは言えない あの5文字
(明石 日茉莉)
- ・キャンパスに みんなでふやす 個々の色(古川 響介)
- ・人と人 違いはあるけど 同じ人(山本 晃沙)

【教育時報2月号・1年俳句 掲載】

岡山県教育委員会が発行する「教育時報」2月号、創作の広場に、勝央中1年生の俳句が掲載されることになりました。紹介をいたします。

- ・氷張りし 水面の下で 息ひそむ (安東 滉一郎)
- ・冬寒し 手をつなげば あたたかさ (荒井 ひなの)
- ・「しみるわね」 体がぼかぼか 母の鍋 (濱田 芹那)
- ・北風に 霜の声聞く 寒き夜 (平田 彩晶)
- ・まどの外 期待している 白い土 (池田 琴音)

【短評】

二学期の最後。冬の俳句を創作しました。中学生らしい感受性が光る冬の俳句で、寒さの中にも温かさや希望を見出す心が表現されています。

自然の厳しさや身近な出来事に触れることで、季節感豊かに描くことができました。どれも丁寧に観察し、心を込めて詠んだ作品だと思います。

